

支庁制度改革に関する緊急決議(案)

支庁制度改革の大きな目的は、道民がゆとりと豊かさを実感し、安心して暮らすことのできる地域社会を実現することにある。

このため、改革を進めるにあたっては、主権者である道民をはじめ、道民に一番身近なところで密接な行政サービスを行っている市町村等の意見を十分踏まえ検討することが重要である。

また、現在、国が議論している第二期地方分権改革、道州制などは、今後の地方自治のあり方に大きな影響を及ぼすものであるが、現時点では多くの重要事項が不透明であることから、その動向を注視していかなければならない。

しかしながら、現在、北海道が進めている支庁制度改革は、道民の民意が十分反映されているとは言い難く、我が国の食料をはじめ自然環境などを守っている多くの地域が、一層、過疎化や地域人口の減少を招き、結果的に北海道の活力を衰退させることが懸念される。

先達が切り開いたこの北海道を、夢と希望にあふれる大地にするよう、次の世代に引き継いでいくことが私たちの使命である。

よって、北海道においては、次に掲げる事項をすみやかに実現されるよう強く訴える。

記

1. 道民の視点に立った道民のための改革とすること
1. 第二期地方分権改革などの動向を見極めた上での改革とすること
1. 道庁改革は本庁ならびに14支庁全体として強力に進めること

以上決議する。

平成20年 6 月25日

支庁制度改革に関する緊急集会